

授業改善のポイント 第4学年

書くために必要な事柄を集める力を付ける

〈取材メモ〉を書く。

〈取材メモ〉を書いておくよ、安心してスピーチ原稿が書けるよ。

スーパー西山に行って、いろいろなことを見たり聞いたりしてきたよ。



●の記号：はじめて知っておどろいたこと

●うれしいスタンプサービス
●五百円でスタンプ
●スタンプが百円で商品けん

簡条書きにしたり、記号を使ったりして分かりやすく工夫しています。

〈取材メモ〉のよさ

- ①見聞きしたことや調べたこと、考えたことなどを、覚えきれなくなる心配がなく、情報が正確に記録される。
- ②たくさんの情報が集まって、作文を書くときに選んだり並べたりすることができる。
- ③大切なことを落とさないで分かりやすく書くことができる。

〈取材メモ〉を書くときのポイント

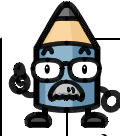
- ①状況や目的に応じた、メモの観点を具体的に考えさせる。
- ②メモの書き方に気を付けさせる。
 - ・体言止めや短い言葉で書く。
 - ・簡条書きで書く。
 - ・必要に応じて記号・印・矢印を使って分かりやすく書く。
- ③一つの事柄について一つずつ書く。

活用に向けて

国語の時間に付けた力を、理科や社会、総合的な学習の時間の観察・見学などの学習で、実際にメモをとらせ、繰り返し活用させましょう。

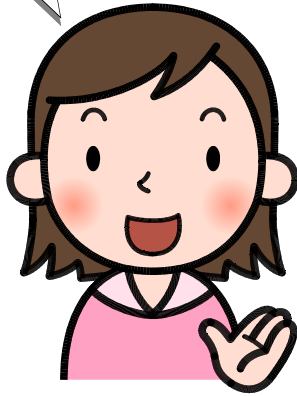
話題や構成に沿って、必要な事柄を選択する力を付ける

書く内容や文章の構成を明確にし、必要なメモを選ぶ。



はじめ・なか・おわりの構成を作り、キーワードをもとにメモを選びます。

私は、スーパー西山の、「うれしいサービス」をテーマにメモを選びます。キーワードは「うれしい」と「サービス」です。



おわり	なか		はじめ
④まとめ ウ	③うれしいサービス2 カ	②うれしいサービス1 イ	①発表すること 「スーパー西山のひみつ」

《組み立て表》

●の記号…はじめて知っておどろいたこと

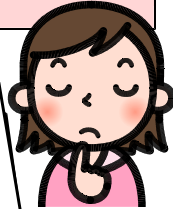
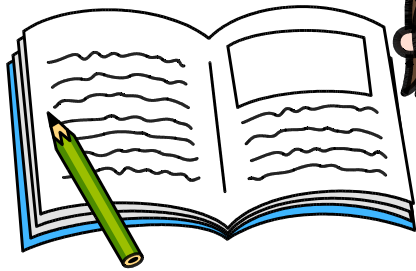
<p>キ リサイクルをしてしげんを大切に</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トレイ ・牛にゆうパック 	<p>オ お客様の話</p> <p>●肉とやき肉のたねなど、いっしょに使うものが近くにおいてある。りょうりのざいりょうがすぐにそろって、助かる。</p>	<p>ウ まとめ</p> <p>スーパー西山では、お客様にとつて、<u>うれしいサービス</u>をしている。</p>	<p>ア 品物を見やすくおいている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・品物をなかま分けし、売り場を決めている。 ・おすすめ品は、店の入口近くにある。
<p>ク まとめ</p> <p>スーパー西山は、品物が見やすいように、おき方をくふうしている。</p>	<p>カ お客様の話</p> <p>●店員さんにたのむと、魚をりょうりしやすいように切ってくれる。サービスがうれしい。りょうりのしかたも教えてくれる。</p>	<p>エ お客様の話</p> <p>スーパー西山は、自分の家に近くてべんりだから、いつも利用している。</p>	<p>イ ●うれしいスタンプサービス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・五百円でスタンプ二こ ・スタンプが百こで商品けん

《取材メモ》

取材メモがたくさんある場合は、分類するとテーマを見つけやすくなります。

時間内に指定された文字数で文章を記述する力を付ける

メモの内容を文章化する練習をする。



短い言葉や、記号を使って書いてあるメモを文章化してつないでいく経験を積みませましょう。

メモの内容だけでなく、思ったことや様子などを付け足して書くことも大切です。



一つ目は、うれしいスタンプサービスです。五百円で一まいスタンプがもらえ、それを百こためると、商品けんがもらえます。わたしは、こんなサービスがあるなんて、知りませんでした。



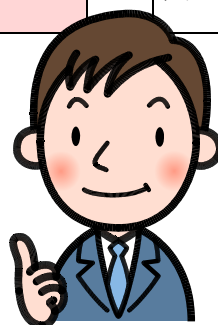
イ ●うれしいスタンプサービス
・五百円でスタンプ一こ
・スタンプが百こで商品けん

〈取材メモ〉

字数や時間の制限の中で書く経験を積む。

時間内に決められた文字数で書く場面を多く設けましょう。

自分の考えを3分間で5行にまとめましょう。



自分の考えを400字詰め原稿用紙に15分間でまとめましょう。

段落の役割を理解し、文章を構成する力を付ける

内容のまとめりとして段落をとらえて書く。



まずは大まかに「はじめ・なか・おわり」に分け、何を書くのかを考えさせます。文章の組み立てをしっかりと作らせることが大切です。

さらに、段落ごとに小見出しを付けさせることで、内容をはっきり意識しながら書き進めることができます。

「段落が変わるときは、改行・1字下げ」を繰り返し指導しましょう。

おわり

〈まとめ〉

なか②

〈うれしいサービス2〉

なか

なか①

〈うれしいサービス1〉

はじめ

〈発表すること〉

スーパー西山のうれしいサービス
 山川 南

×わたしは、みなさんに、スーパー西山のひみつについて教えます。
 ×一つ目は、スタンプサービスです。五百円で一まいスタンプがもらえて、それを百こためると、商品けんがもらえます。わたしは、こんなサービスがあるなんて、知りませんでした。

×二つ目は、店員さんにたのむと、魚をりようりしやすいように切ってくれるサービスです。りようりのかたも教えてくれます。

×このように、スーパー西山では、お客さんにとってうれしいサービスをたくさんしているのです。



いつも段落を意識して文章を書くようにすることが大切なのね。

話の中心や結論を先に述べてから内容について述べるといった基本的な発表の型を繰り返し指導することも大切です。

段落ごとに色別の原稿用紙を使用するなどの手だても効果が期待できます。